

<p>【技術の名称】 CDP工法 ー碎石を用いた地盤の密度増大工法ー</p>	<p>性能証明番号：GBRC 性能証明 第15-19号（更2） 性能証明発効日：2021年12月14日 性能証明の有効期限：2024年12月末日</p> <p>【取得者】 株式会社アートフォースジャパン ジャパンホームシールド株式会社</p>
---	--

【技術の概要】

本技術はケーシングを用いて碎石を柱状（杭状）に無排土で打設することで緩く堆積した砂質土地盤の密度を増大させる工法であり、ケーシングによる先行掘削で地盤を密に締め固める効果がある。また、低振動・低騒音での施工が可能であるため、市街地など隣接した場所での施工も可能であり、無排土の施工であるため残土が発生しない。なお、密度増大効果については、施工後に必ず地盤調査を行って確認することとしている。



図-1 施工状況

【更新の内容】

新規:GBRC 性能証明 第15-19号(2015年12月10日)
 更新:GBRC 性能証明 第15-19号(更1)(2018年12月4日)
 :GBRC 性能証明 第15-19号(更2)(2021年12月14日)

【技術開発の趣旨】

本工法は主に小規模建築物を対象とした地盤の密度増大を目的として開発された工法である。密度増大を図る工法は多数開発されているが、中には振動や騒音が大きく、建設場所によっては適用が困難なものもあった。本工法は、小規模建築物を建設するような比較的狭い場所や市街地など周辺建物が隣接した場所でも施工が可能な施工機を用い、低振動・低騒音で環境に優しい工法を実現している。

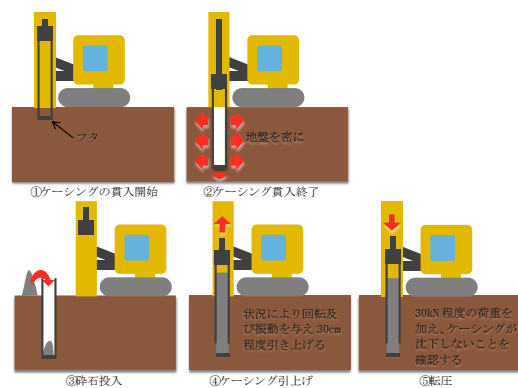


図-2 施工手順

【性能証明の内容】

本技術についての性能証明の内容は、地盤の密度増大効果についてのみを対象としており、以下の通りである。

申込者が提案する「CDP工法 設計・施工基準」に従って施工された碎石を用いた地盤の密度増大効果は、同基準に定める設計チャートで適切に推定できる。

また、本技術については、規定された施工管理体制が適切に運用され、工法が適正に使用されている。

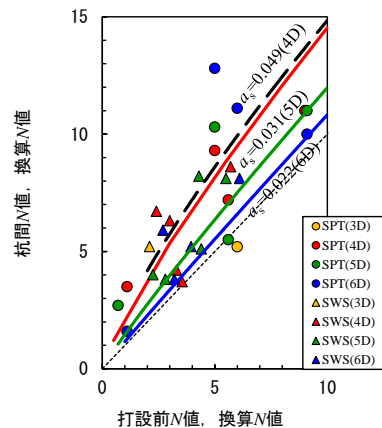


図-3 打設前後の N 値及び換算 N 値の関係

【本技術の問合せ先】

株式会社アートフォースジャパン 担当者：山口 喜廣
 〒414-0044 静岡県伊東市川奈 1299

E-mail : yoshi@artforcejapan.com
 TEL : 0557-45-1109 FAX : 0557-45-6520